

## 2月定例記者会見 会見録

令和3年（2021年）2月10日（水） 11:00～12:00 庁議室

### 質疑応答

#### ■【茨城県内初】市民窓口でスマホからのスマート申請導入について

##### 記者A

最初に登録が必要かと思いますが、登録にどれくらいの時間を要するのかということと、実際に申請にかかる時間を伺います。

##### 市民窓口課長

必要な登録はメールアドレスの登録のみです。申請にかかる時間は、必要な書類を用意しておけば、3分程度で終わると思います。

##### 記者A

メールアドレスの登録で済むということなので、事前準備ができていれば、3分から4分で申請は終わってしまうのか伺います。

##### 市民窓口課長

はい、申請は完了です。

##### 記者A

つくば市内での現在のマイナンバーカードの普及率について伺います。

##### 市民窓口課長

令和3年1月31日現在で約30.0%です。

##### 記者A

茨城県内初の取組ということで、非常に便利かと思いますが、これを期にマイナンバーカードの普及を図りたいという意図もあるのか伺います。

##### 市長

つくば市としては、マイナンバーカードの普及は進めていきたいと思っています。そのため、その利便性を知っていただく取組が必要だと思いますので、このような機会に改めてマイナンバーカードの利便性を感じていただければと思います。

## 記者 A

「請求した住民票の写しは、後日郵送で御自宅に届きます」とありますが、何日かかるのか伺います。

## 市民窓口課長

早ければ4日程度で届きます。

## 記者 C

つくば市はこれを導入することで何を目指していて、今後どのように市の業務として役立つと考えているのか伺います。

## 市民窓口課長

つくば市は、「つくば市戦略プラン」において、「書かない、待たない、行かないデジタル窓口」を掲げています。その中で、個人のライフスタイルに合わせて手続きができるデジタル窓口を推進するために、マイナンバーカードを起点としたサービス設計の整備を進めています。今回、「行かない窓口」の一つとして、「スマホからいつでもどこでも可能な行政手続き」を実現するきっかけとして始めたものです。今後、市役所の様々な行政手続きを電子化できる方向にしていきたいと考えています。

## 記者 C

この仕組みに限らず、デジタル窓口というのを進めていきたいという理解で良いか伺います。

## 市民窓口課長

はい。現在でも、いばらき電子申請・届出サービスを利用して、電子的にスマホやパソコンでできる申請手続きは多種用意しています。その中で今回は、マイナンバーカードを使った本人認証、加えて、クレジットカードを利用した電子決済、そこまで一気に進められることが特徴の一つになります。

## 記者 C

この事業は、スーパーシティ構想に関わることだと思いますが、そのあたりのお考えを伺います。

## 市長

当然関わってきます。行政のデジタルトランスフォーメーションは、私どもにとっても、使用価値があるものだと思います。つくば市は中でも、マイナンバーカードを利用したインターネット投票を主軸に置いています。そのためにもマイナンバーカードの普及は重要だと思います。市民の利便性が向上するとともに、スーパーシティ構想にも密接に関わってくる話だと考えています。

## 記者C

市民窓口課は、今までも、いろいろな取組をされていて、業務改善をしたり、窓口での待ち時間対応のためにQRコードを導入したり、RPAを入れたりしてきましたが、そこからの発展と考えたら良いのか、全く別なのか伺います。

## 市民窓口課長

そこからの発展となります。「書かない、待たない、行かないデジタル窓口」の取組として、QRコードで待ち時間をお調べいただくとか、RPAで事務効率化を図って待たない窓口とすることとしています。今回も、スマホで手続きすることで、「行かないデジタル窓口」とするなど、一連の取組として実施しています。

## 記者C

アプリの名前を見ると、事業者が同じ案件ではないように思いましたが、一連の取組というのはどういうことなのか伺います。

## 市民窓口課長

これまでの「書かない、待たない、行かないデジタル窓口」に向けた取組で得た知見を基に、最適なサービスをチョイスして提供していくこととなります。

## 記者D

県内初とありましたが、全国的な導入件数など把握されていたら伺います。また、転出届を出すと、後日郵送で自宅に届くと明記されていますが、転出前の自宅でも送ってくれるし、転出後の自宅でも送付してくれるという認識で良いか伺います。

## 市民窓口課

県内で初になりますが、全国としては、他に5団体あります。大阪府の<sup>しじょうなわて</sup>四條畷市や埼玉県の戸田市などを確認しています。

申請して証明書をお送りするのは、住民票の写しになります。転出届は、マイナンバーカードをお持ちの方は、転出証明書のない転入届ができますので、システムで転出届の登録をするだけで、転出が完了して、証明書を発行できます。

転入は、本人が新しい住所地に直接赴いて、来庁して届け出をすることが必要となります。

#### **記者B**

住民票の写しの請求と転出届の提出の2つとも県内初という認識で良いか伺います。

#### **市民窓口課長**

いずれも県内初になります。

### **■（仮称）つくば市陸上競技場整備基本構想（案）について**

#### **記者B**

以前、全員協議会でお話をされた時から、変更された点がありましたら教えてください。

#### **スポーツ振興課長**

概要版の6ページ、上郷高校跡地を選定したということ、7、8ページには、上郷高校の整備にあたり、今回2つのプランを検討していること、9ページに、管理運営の基本的な考え方や方向性、基本構想策定後のスケジュール想定、本編35ページに、2つの配置計画プランの概算工事費の算出を追記しています。これらが12月の全員協議会時の資料からの追記です。

#### **記者B**

最終的に、案が取れるのはいつ頃になるのか伺います。

#### **スポーツ振興課長**

現在の予定では、パブリックコメントが終わってから、3月下旬にもう一度策定検討会議を開催して、最終調整をします。その後4月の庁議を経て決定していく予定です。

#### **記者E**

パブリックコメントの期間はいつまでか伺います。

**スポーツ振興課長**

2月5日から3月7日までです。

**記者E**

方法はインターネット、メール、紙でも良いか伺います。

**スポーツ振興課長**

いずれも可能です。

**記者E**

着工から供用開始までのスケジュールはあるか伺います。

**スポーツ振興課長**

大まかなスケジュールは、概要版の9ページのとおりです。

**記者E**

事業費は、総事業費と認識して良いか伺います。

**スポーツ振興課長**

そうです。実際には、建設前の設計段階で詳細な積算が必要になりますが、概算としては、この程度かかるのではないかと想定になります。

**記者E**

設計費用とか周辺取り付けの建設費は含まれないのか伺います。

**スポーツ振興課長**

この段階では、含まれていません。

**記者E**

本文55ページですが、第3種と第4種で利用できる器具は、具体的に何が違うのか伺います。また、陸上競技場は、どういうことをするために造るのか、できたらここで何をするのか具体的に教えてください。

## スポーツ振興課長

器具ですが、種類はさほど変わりませんが、物によってそろえる数にかなり差があります。現在、市で考えている活用方針は、基本的には市内の小中学生による陸上記録会や競技会、市も主催している陸上選手権などの開催活用を想定しています。その他として、健康マラソンや学校の部活動利用、パラスポーツでの活用なども想定しています。インフィールドは、サッカーに代表される球技への活用などを想定しています。また、陸上競技場本体に加えて、多目的広場やウォーキングコースなどの付帯施設を整備し、市民の身近な健康づくりに寄与する施設としても活用していきたいと考えています。

## 記者 E

プロスポーツや大きな大人の記録会などはできないのか伺います。

## スポーツ振興課長

大会のカテゴリーによるとと思いますが、そのカテゴリー内であれば大人の競技会もできます。

## 記者 E

議会で高エネ研南側未利用地を陸上競技場にという意見も一部にあるということですが、調査特別委員会が結論を出す前に、ほぼ上郷高校跡地ということでパブリックコメントをすることに決まりました。話の進め方として、整合性は取れていると思うか伺います。

## 市長

全員協議会で説明をした後に、各会派から質問を出していただきましたが、その中で「なぜ高エネ研にしないのか」というご質問は一件もありませんでしたので、おおよその方が、上郷高校跡地で判断をされていると思います。

## ■半導体生産世界最大手、台湾積体電路製造（TSMC）がつくば市に研究開発拠点を設立することについて

### 記者 F

昨日、半導体生産で世界最大手の台湾積体電路製造（TSMC）が日本に子会社を設立する方針を決めました。つくば市に研究開発拠点を設ける方針とされていますが、市長の期待感を伺います。

**市長**

大変期待をしています。半導体で世界を牽引する企業ですし、iPhoneのチップ等をほぼ独占的につくっていると聞いており、世界的な信頼の厚い企業だと考えていますので、ぜひつくばで様々な展開をしていただければと思います。

**記者F**

市として具体的な支援など考えられることは何かあるか伺います。

**市長**

例えば、ZOZOTOWN、ZOZOBASEの取締役と話をしても、つくば市は、優位な人材が集まりやすいというようなことを言われていますので、積極的に広報をすればすぐに人が集まるかもしれませんが、産業振興課を中心に、どういう支援ができるのか、よく相談しながら進めていければと思います。

**記者G**

TSMCの関連ですが、市長に具体的な場所のお話が入っているのか伺います。

**市長**

いえ。まだ正式な話は聞いていません。

**記者G**

これは私の想像ですが、高エネ研南側未利用地にTSMCに来てもらい、高額で一括購入されれば、丸く収まるのではないかと思ったのですが、そのような話はないのでしょうか。

**市長**

あまり考えにくいと思います。TSMCとしては、検討した中で今回の決定をされたと思います。

**記者H**

市長は、研究所を造るという情報を発表前から得ていたのか伺います。

**市長**

様々な話は当然聞いている部分はありますが、報道と同程度のものです。正式に話が

来たわけではありません。

#### **記者H**

台湾のメーカーと日本の企業が組むらしいですが、日本の企業などからも、少しは情報として耳に入ることはあるのか伺います。

#### **市長**

情報は様々なところから様々な形で入りますが、正式な話は来ていません。

#### **■つくば駅周辺のマンション建設について**

##### **記者F**

つくば駅周辺で高層マンションを建設していますが、2018年のクレオの取得時に市長が、「つくば駅周辺の高層マンション建設の規制について、具体的に検討したい」とおっしゃっていたと思います。あれから2年経ちましたが、現在の検討状況を伺います。

#### **市長**

今、ガイドラインの作成を進めています。

#### **学園地区市街地振興室長**

来年度の完成を予定しています。

##### **記者F**

具体的にはこういったものになるのか伺います。

#### **学園地区市街地振興室長**

駅周辺の駅前にふさわしい都市機能を集積するというのが目的ですので、単に集積するだけではなく、どのような街づくりの方策が必要か、こういったものを誘導すべきか、全体的なガイドラインを作成しており、合わせて制限の実施を検討しています。

##### **記者F**

高層マンションの建設に制限をかけるのか伺います。

#### **学園地区市街地振興室長**

駅周辺の都市機能を集積するために、住宅を規制するという事で考えています。



## ■新型コロナウイルスワクチン接種体制について

### 記者G

新型コロナウイルスワクチンの接種体制について、水戸市が方針を発表されていますが、つくば市としてはいつ頃からどのような体制で実施するのか見通しがあれば伺います。

### 市長

つくば市は大病院が多いことから、医療従事者が非常に多いという特殊な課題を抱えています。医療従事者の接種が非常に難しいので、医師会の協力を得て、近隣のクリニックで接種を進めることを現在検討しています。

### 記者G

水戸市などは、かかりつけ医を中心に接種していましたが、一般の方の接種の方針を伺います。

### 市長

医療従事者の接種をクリニックで行うことは相当めずらしいことだと思います。一般の方の集団接種の必要性は、今後検討していきます。

### 記者G

クリニックで実施する医療従事者への接種は、何人くらいを考えているか伺います。

## 新型コロナウイルスワクチン接種対策室長

つくば市の医療従事者の数は全体で1万3,000人です。その内、お勤めになっているクリニックで受けられない方が約1,700人います。

### 記者G

それは、看護師、医師の人数なのか伺います。

### 市長

基本的には医師会のクリニックのスタッフの皆さんです。

筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院など、大きな病院は、ご自分のお勤めになっている病院で接種していただきます。クリニックにお勤めの方は、医師会に所属しているクリニックでの接種になるかと思います。

**記者G**

約1万3,000人の医師や看護師を対象にしている、その内の1,700人は自分のところで打てないのでかかりつけ医で接種するという理解で良いか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

かかりつけ医というか、他の病院の方も受け入れてくれる医療機関で受けてもらうこととなります。

**記者G**

いつ頃からはなるか伺います。

**保健福祉部長**

まだ、確定はしていませんが、3月中になると思います。

**記者G**

笠間市は一般人を対象に接種の訓練をすると報道されていましたが、つくば市は、実際に打つことを想定した訓練・練習を実施する考えはあるのか伺います。

**市長**

すでにインフルエンザの予防接種の訓練をやって、様々な課題等も出ていますが、今のところは考えていません。

**記者G**

訓練で出た課題があればお聞かせください。

**市長**

インフルエンザの場合は、かなりの数を接種することができますが、今回のワクチンは集団接種で密をつくることができない点に違いがあります。かかりつけ医や地域のクリニックで実施する方がスムーズですし、感染リスクを避けることもできるだろうと思います。

**記者G**

一般の方も、集団接種ではなくかかりつけ医を中心にしたところで接種するというところをお考えであると、認識して良いか伺います。

**市長**

今後も調整していきますが、クリニックが中心になっていくと思います。

**記者B**

今回協力するクリニックの数はどのくらいなのか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

つくば市医師会の方で、市内145か所に問い合わせをしています。まだ、確実な数字は出ていません。

**記者B**

仮に100か所くらいのところが協力したとして、今回のワクチンはマイナス70度の冷凍庫が必要となると思います。すべてのクリニックに導入することになるのか伺います。

**市長**

いいえ、つくば市にディープフリーザーを設置し、ワクチン管理は、つくば市が責任を持って行うことを考えています。大きな病院以外は、すべてつくば市になります。

**記者B**

市としては1カ所または2カ所になりますか。

**市長** 市としては1カ所です。

**記者C**

ディープフリーザーは、市役所に設置するという理解で良いか伺います。

**市長**

はい、おっしゃる通りです。

**記者C**

そこから、個別接種のクリニック、診療所に配送するということですか。

**市長**

はい、受け取りと配送と両方あります。

**記者C**

一般の方の接種は、受ける人の利便性のために、個別接種が中心になっていくという理解で良いか伺います。

**市長**

すでに大病院では、様々な対応に追われていますので、その上、莫大な数の集団接種を行うことは難しいと考え、クリニックの方は、できる限り自院で接種していただき、余力があればその他の医療従事者の方も、クリニックで接種が受けられるといいのではないかと思います。

**記者C**

3月中に始まるのは医療従事者への接種という認識で良いか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

はい、その通りです。

**記者C**

高齢者の優先接種のめどは、いつぐらいなのか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

国のスケジュールによりますと、4月からになると思います。

**記者C**

対象となる医療従事者が市内に1万3,000人いらっしゃって、その中で自院では接種できない方が1,700人いらっしゃいますが、集団接種ではなく、大病院で接種するということなのか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

基本的には、大病院に行くような割り振りをこちらでさせていただいています。

**記者C**

割り振りは、大体決まっているのか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

現在、割り振りの最中です。

**記者C**

大病院や基本型の施設、あるいは連携型の施設で受けてもらおうと考えておけばよいか伺います。

**新型コロナウイルスワクチン接種対策室長**

はい、その通りです。

**■新型コロナウイルスに対する教育現場の対応について**

**記者A**

教育長にお伺いします。新型コロナウイルスにより、学校では、給食の時間に皆一方向を向いて、基本的には話はしないで食べています。また、中学校の部活の声援や、行事の制限などで、子供達もかなりストレスが溜まっていると思います。そのことに対する相談窓口や人員の拡充等はされているのか伺います。

**教育長**

特に人員の拡充はしていませんが、先生達は注意深く子供達を見ていて、ストレスができるだけ溜まらないように、その他の活動のところで、十分に子供達の声聴きながら進められるようにしています。相談件数が増えているという報告は、現在のところありません。

**終了**